

伝産男子。伝産女子。 Vol. 6

～信楽焼～

「窯元」として信楽焼の伝統を継承しつつ、

「陶芸作家 藤原 純」として自由にものづくりを楽しんでいます



古仙堂 藤原 純 さん 41歳

1979年信楽町生まれ。男3兄弟の真ん中育ち。滋賀県立信楽高校卒業後、滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場にて信楽の伝統成形である大物ロクロを1年間学ぶ。卒業後の1998年、家業である窯元の古仙堂で陶器制作に従事。2013年に伝統工芸士認定。2000年代より家業と並行して作家活動にも挑戦。「藤原純」の世界感が詰め込まれた作品や藤原ブルーを求めるファンは全国に広っている。また信楽焼の動物オブジェ制作のエキスパート。趣味はファッショントレンド制作。

信楽焼の特徴とは？

六古窯の一つ。産地では食器類や大物陶器の技術を使った大型浴槽や洗面鉢も多く生産されています。詳しくは伝産協会のHPでも紹介しているので、ご覧ください。
※古来の陶磁器窯のうち中世から現在まで生産が続いた代表的な6つの窯(越前・瀬戸・常滑・信楽・丹波・備前)の総称

伝産協会内
信楽焼紹介ページ



窯元の仕事と作家活動をしています

どんな仕事をしていますか？

日中は窯元としての仕事をします。ある程度形の決まった花瓶やカエルの置物を作り、問屋に卸します。父と共同で作業を行っており、私が手で成形したものを父が仕上げています。

夕方からは作家としての活動します。デザインから仕上げまで自分で行います。

その他、週1回母校である信楽高校の授業で、信楽焼の制作方法の一つである「手びねり」によるタヌキの制作を教えています。



工房の様子



窯元のカエルはおじいさんのデザイン



作ることが趣味です

窯元の仕事と作家業の両立はどうですか？

窯業試験場に入って、作家になれば自由に創作活動ができる事を知りました。作家活動をすることで窯元の仕事にもノウハウを活かす事ができるので、窯元業と作家業を両立させています。モノ作りが趣味なので休日にも作業することもありますが、それが逆にストレス解消にもなっています。

リアルっぽいというかオブジェっぽいのが得意な家系です

窯元業について

創業者である曾祖父の代からタヌキやカエルの置物を作っています。リアルっぽいというかオブジェっぽいのが得意な家系です。窯元の息子はその家独特的の風合い、つまり性格だったり、美意識だったりが近づいていく、そして受け継がれていくんですね。曾祖父や祖父の作品は、今でも信楽の問屋さんの前に置かれてるので、信楽に来られたら一度は目にされていると思います。



伝産男子。伝産女子。 Vol. 6

～信楽焼～



先代の職人の証を感じた時

仕事のやりがいやうれしかったことは？

窯元の作品は基本的に作り手の名前が表に出ないので、作品の裏面に押しているハンコを調べて問い合わせてくれるお客様がいたのはうれしかったです。あと、曾祖父が作った作品のお直しの依頼もうれしいです。「やってはったな」という証を感じることができます。後生に伝えられるのはいいなと思います。作家業では、お客様が私のお皿とともに料理をインスタにアップしてくれるんですが、僕がイメージした以上に魅せてくれているのがうれしいです。



藤原さんのブルーと動きが特徴的作品



藤原さんのInstagram (@fujiwarajune)



産地である信楽の風景も感じてほしい 作家活動を通じて伝えたいこと

信楽の町にもっと人を呼びたいですね。今年「陶芸の森」のイベントと同じ日に、駅前の商店街で個展を開催しました。ただ作品を購入してもらうのではなく、実際に街を歩いて信楽の風景や窯元が集まるエリアなども見てもらいたくて。若い世代も含めて産地にもっと人を呼び込みたいです。



技術+ものづくりについて教えています

高校でも教えていらっしゃるんですね

技術はもちろんですが、「ものづくり」についても教えています。将来陶芸以外の道に進んだとしても、高校時代にものづくりにふれているので、今後の進路で活きてくるのではないかなと思いますし、また信楽焼も含めた伝統工芸のファンにもなってくれたらうれしいなと思います。



ひとつひとつに動きをもたせたい 藤原さんの作品の特徴は？

器が躍動してほしいという思いを込めて作品を制作しています。きっちりとした器の中に曖昧さを表現するイメージです。ひとつひとつ動きができるように線が自由なのが特徴かなと思います。動物オブジェを作っている流れも影響していると思います。今後は、釉薬をかけずに信楽焼の特徴の穴窯により高温で焼成した「焼き締め」や「無釉の陶器」に挑戦したいです。古代の縄文土器のような風合いになります。信楽焼の“伝統”に挑戦しながら“今”的信楽焼を表現したいです。